

書窓

Shoso

No.328

2012. 6

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰐

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

一期一会

本とわたし 310

川井 智子

十六歳の夏。知らない顔ばかりの同級生たちと未だ馴染めず、周囲の喧騒をよそに一人黙々と過ごしていた。いつも鞆にひっそりと入っていたのが『何もなくて豊かな島』（崎山克彦著）。それが私の、初めて買った文庫本。

その出逢いが、私を本の世界にどっぷりとのめり込ませた。朝、高校へ行くふりをしては、図書館で借りた本を片手に近くの海へ直行したり、列車に乗って学校の最寄り駅では降りずに、知らない街へ何度も足を運んだ。少しだけの罪悪感と、誰も私のことを知らない開放感。そのときに新しい「本」という名の友に出逢える喜びが、そこにはあった。あれから十二年後の今夏、私は何かに導かれる様に訪れた、鹿児島県・トカラ列島の宝島へ単身移住を試みる。人口約百人。鹿児島島から、フェリーは週二便で十三時間。仕事は、

自分でつくらなければ、宝島では生き残れない金銭的には崖っ縁の生活かもしれない。だが私にとって、生きるとは、幸せとはなにか。この問いかけは、『センス・オブ・ワンダー』（レイチェル・カーソン著）の世界観や、アメリカインディアン、ラコタ族の言葉「平和：それは魂の内にやって来る」にも通じる。この問いに、真摯に向き合える人生を選びたい。

「自分の好きな生き方をしなさい」と見守ってくれる両親。「またいつか一緒に働きたい」と言ってくれる同僚。学生時代の恩師。旅先で出逢った人達。そして、私の一番の宝物である友人達。今までの一期一会、すべての人達、本達のおかげで、私は一人でいても以前の様な孤独感はない。

私はこれからも素敵な方に出逢うと「おすすめの本、教えて下さい！」と尋ねるだろう。そして、いそいそとお気に入りのあの場所へ。ありのままの私を、いつも穏やかに迎え入れてくれる場所、図書館へ。

(石海)

新着図書紹介(ノン・フィクション)

2012. 6

書名	著者	出版社	請求記号
ページをめくる指 絵本の世界の魅力	金井 美恵子	平凡社	019.5
「だまし」に負けない心理学	香山 リカ	技術評論社	140.4
大国主の神話 出雲神話と弥生時代の祭り	吉田 敦彦	青土社	164.1
文化遺産の眠る海 水中考古学入門	岩淵 聡文	化学同人	202.5
平安京の災害史 都市の危機と再生	北村 優季	吉川弘文館	210.3
未完のファンタジア 「持たざる国」日本の運命	片山 杜秀	新潮社	210.6
関西周辺登山口ガイド 下	全国登山口調査会	神戸新聞総合出版センター	291.6
イギリスの田舎を歩く	ピーター・ミルワード	春風社	293.3
幼少の帝国 成熟を拒否する日本人	阿部 和重	新潮社	304
私たちは“99%”だ ドキュメントウォール街を占拠せよ	『オキュパイ! ガゼット』編集部	岩波書店	316.4
ぼくらのアフリカに戦争がなくならないのはなぜ?	小川 真吾	合同出版	319.8
別海から来た女 木嶋佳苗悪魔祓いの百日裁判	佐野 眞一	講談社	326.2
それをお金で買いますか 市場主義の限界	マイケル・サンデル	早川書房	331.8
宮中のシェフ、鶴をさばく 江戸時代の朝廷と庖丁道	西村 慎太郎	吉川弘文館	383.8
サンカとともに大地に生きる	清水 精一	河出書房新社	384.3
生きのびるための科学	池内 了	晶文社	404
3D宇宙大図鑑 ARで手にとるようにわかる		東京書籍	440
小石、地球の来歴を語る	ヤン・ザラシーヴィッチ	みすず書房	450.4
ゴキブリはなぜ絶滅しないのか 殺虫剤の進歩と限界	林 晃史	八坂書房	486.4
あきらめない! アレルギー治療	渡辺隆文 夫馬直実	NHK出版	493.1
最新版コレステロール・中性脂肪がみるみる下がる大百科		主婦の友社	493.2
加齢臭読本 いくつになっても、におわない人の習慣	奈良 巧	草思社	498.3
日本の塔 タワーの都市建築史	橋爪 紳也	河出書房新社	523.1
スケッチ感覚でパースが描ける本	中山 繁信	彰国社	525.1
発送電分離は切り札か 電力システムの構造改革	山田 光	日本評論社	540.9
チョコレートの帝国	ジョエル・G・ブレナー	みすず書房	588.3
自然の力で夏をのりきる暮らし術 エアコン半減でも手づくりローテクアイデアで夏を涼しく・楽しく!		農山漁村文化協会	590
モールで作る小さなどうぶつ	国本 雅之	河出書房新社	594
もの+刺しゅう	西須久子 横田藍子	マガジンランド	594.2
ケチャップレシピ手作り万能ケチャップでかんたん! 95のごはん	庄司 いずみ	マーブルトン	596
塩麴のおつまみとおかず	小紺 有花	河出書房新社	596
3時のおやつ ずっと作りつづけたい	川上 文代	講談社	596.4
世界から飢餓を終わらせるための30の方法	ハンガー・フリー・ワールド	合同出版	611.3
棚田その守り人	中島 峰広	古今書院	616.2
韓国で日本のテレビ番組はどう見られているのか	大場 吾郎	人文書院	699.2
美術「心」論 漱石に学ぶ鑑賞入門	古田 亮	平凡社	707.9
恩地孝四郎 一つの伝記	池内 紀	幻戯書房	732.1
金継ぎ一年生 本漆で、やきもの、ガラス、漆器まで直します		文化出版局	751
バイエルの謎 日本文化になったピアノ教則本	安田 寛	音楽之友社	762.3
五代目小さん芸語録	柳家小里ん 石井徹也	中央公論新社	779.1
安楽椅子の釣り師	湯川 豊	みすず書房	787.1
翻訳に遊ぶ	木村 榮一	岩波書店	801.7

新着図書紹介(文学)

2012. 6

書名	著者	出版社	請求記号
深海魚雨太郎の呼び声 上・下	丸山 健二	文藝春秋	マル
尋ね人	谷村 志穂	新潮社	タニ
夜の国のクーパー	伊坂 幸太郎	東京創元社	イサ
七夜物語 上・下	川上 弘美	朝日新聞出版	カワ
勝ち逃げの王女 君たちに明日はない4	垣根 涼介	新潮社	カキ
ダンス・ウィズ・ドラゴン	村山 由佳	幻冬舎	ムラ
雲をつかむ話	多和田 葉子	講談社	タワ
燃焼のための習作	堀江 敏幸	講談社	ホリ
ダブルトーン	梶尾 真治	平凡社	カジ
美しき一日の終わり	有吉 玉青	講談社	アリ
われらの再生の日	阿部 牧郎	講談社	アベ
日本銀行を創った男 小説・松方正義	渡辺 房男	文藝春秋	ワタ
あなたは欠けた月ではない	光野 桃	文化出版局	ミツ
トマト・ケチャップ・ス	東 直子	講談社	ヒガ
屋上ミサイル謎のメッセージ	山下 貴光	宝島社	ヤマ
事件でござるぞ、太郎冠者	井上 尚登	祥伝社	イノ
廃工場のティンカー・ベル	永嶋 恵美	講談社	ナガ
鍵のない夢を見る	辻村 深月	文藝春秋	ツジ
トラップ・ハウス	石持 浅海	光文社	イシ
とうへんぼくで、ばかったれ	朝倉 かすみ	新潮社	アサ
窓の向こうのガーシュウィン	宮下 奈都	集英社	ミヤ
岳飛伝 1 三霊の章	北方 謙三	集英社	キタ
江戸へ吹く風	岩井 三四二	文藝春秋	イワ
日御子	帚木 蓬生	講談社	ハハ
猫除け 古道具屋皆塵堂	輪渡 颯介	講談社	ワタ
応仁秘譚抄	岡田 秀文	光文社	オカ
しのぶ恋 御隠居忍法10	高橋 義夫	中央公論新社	タカ
秋霧の街	柴田 哲孝	祥伝社	シバ
刻命	末浦 広海	中央公論新社	スエ
身を捨ててこそ 新・病葉流れて	白川 道	幻冬舎	シラ
盗作の報酬	三浦 明博	講談社	ミウ
衆	堂場 瞬一	文藝春秋	ドウ
笑う娘道成寺 女子大生桜川東子の推理	鯨 統一郎	光文社	クジ
漏洩 素行調査官	笹本 稜平	光文社	ササ
ヨコハマ関内署刑事部屋	松本 賢吾	毎日新聞社	マツ
エス	鈴木 光司	角川書店	スズ
なみだふるはな	石牟礼道子 藤原新也	河出書房新社	イシ
「そこそこ」でいきましょう	岸本 葉子	中央公論新社	キシ
「二重国籍」詩人野口米次郎	堀 まどか	名古屋大学出版会	911.5
ティンカーズ	ポール・ハーディング	白水社	Fハデ
マイクロワールド 上・下	マイクル・クライトン	早川書房	Fクラ
通信教育探偵ファイロ・ガッツ	エリス・パーカー・バトラー	国書刊行会	Fバト

ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナぶん・え

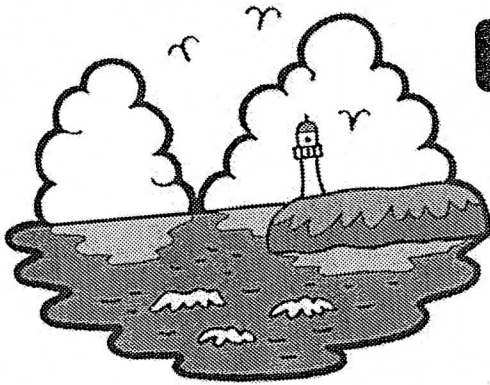
いしいももこやく (福音館書店)

大きな庭のまん中のかわいい家に、ふわふわさんとふわおくん、二ひきのうさぎが住んでいました。ふわふわさんは花に水やり、ふわおくんは掃除やおつかいをしています。

ある晩、ふわおくんが目をさますと、庭に天使が立っていて、「じき あかちゃんができませんよ」言いました。間もなく、本当に赤ちゃんが生まれ、うさこちゃんと名を付けられました。そこらじゅうから動物がうさこちゃんを見にやってきました。太った牛はおじぎして、「あかちゃんがお生まれになって おめでとう」。うさこちゃんは、大勢のお客にくたびれて、眠ってしまいました。

リズムカルな言葉と、シンプルな輪郭に、赤・黄・緑・青の鮮やかな配色の絵から、うさこちゃんの誕生の喜びがあふれています。読んでもらえば二歳くらいから楽しめます。

(片木)



子どもの本だな 144

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。



鉄道きょうだい

E・ネズビット 著

中村 妙子 訳 (教文館)

ロバータ、ピーター、フィリスの三人きょうだいは、お母さんと一緒にイギリスの田舎に引っ越ししました。三人は家の近くを走る線路を見に行きました。怪物の咆哮のような汽笛。ものすごい鼻息。トンネルから出てきた汽車は空とぶ竜のような迫力でした。駅長さん、駅員のパークスさん、そして、九時十五分の汽車の窓からいつも手を振り返してくれる老紳士。鉄道を中心にして友達が増えていきました。ある日、三人がサクランボ摘みに行ったとき、ゴーツという音が響き渡り、立ち木が根こそぎ動き出しました。地滑りが起き、線路を埋めてしまいました。「恐ろしい事故が起こることになる！」三人は間もなく通過する機関車に危険を知らせるため、線路際に立ち、赤いペティコートで作った旗を必死で振りました。

父親がいなくなつて田舎での貧乏暮らしが始まりますが、火事になった引き船から赤ん坊を助け出したり、村中に呼び掛けてパークスさんの誕生日を祝ったり、新しく出会った人たちとの関わりを深めていきます。困っている人を放っておけない子どもたちに好感がもてます。十歳くらいから楽しめます。

(小西)

◆おはなしの時間・絵本の時間に来てください◆

《おはなしの時間》

毎週土曜日に、おはなしの部屋で開いています。

- ・ 11:00～（4歳から小学2年生）
 - ・ 11:30～（小学3年生から中学3年生）
- 6月は「ついでにペロリ」「やまのこぐちゃん」などを予定しています。



《絵本の時間》

毎週木曜日、午前11時から（約30分）
2、3歳のお子さんが対象です。お母さんお父さんといっしょに楽しんでください。
6月は『おおきくなったら』を予定しています。

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6月・7月の移動図書館(いずれも木曜日です)

6月	7月	10:30 ~11:00	11:10 ~11:40	14:30 ~15:00	15:10 ~15:40	16:00 ~16:30
7日	5日	塚森 公民館		福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
14日	12日	岩見構下 公民館	岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲示板 前	原 太田東地 区農村交 流センター
21日	19日	広坂 ポスト前	上太田 公民館	沖代 地域内	吉福 公民館	太子ニュー タウン 公民館

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

×印は休館、□印は午後1時まで開館。
開館は10時からです。
金曜日は午後8時まで開館しています。

地 下 水

小学生のころ、庭や畑にある蜜柑や金柑の木が怖かった。揚羽蝶の幼虫がいつぱいついていたらだ。色も形も不気味だし、丸々したイモムシが勢いよくそっくり返ったり、丸まったりする格好はぞつとす。サナギがびくびく動くのは面白いのだが。色鮮やかなイモムシが表紙を飾る『イモムシハンドブック』をOさんはいそいそと借りて帰られた。どうしてイモムシが興味の対象なのか、とても興味深い。

そろそろ、へびを見かける時期になった。図書館で働き始め二年続けて、朝一番乗りした館内でへびに遭遇。数年前には、玄関のブラインドを開ける先輩Kさんの腕に、へびがポトリと落下してきた。これにはとても申し訳ないが、自分でなくてよかったです。過去のへびの出現を知った利用者Sさんは「最近に入ってこないの？ おもしろくないな。」と無責任な一言をぶやく。イモムシ好きのOさんの妹に、「愛情をかけて世話されたへびはやさしい子になる。」と聞いたことがある。人が人間のためのものとしている場所に、ふらりとやってきてしまった野育ちのへびは、本来の性質がどうであつても、すぐさま棒で突かれ外に放り出されるといふ目に遭う。

長い間来られなかった利用者が、話題にあがると来館されることがよくある。へびには、来館を控えてもらいたい、しぼらくお見かけしない利用者の来館は大歓迎である。

(竹内)